

イナズマイレブンGOVS  
プリキュアオールス  
ターズ！永遠の友達！

スーパーケロロ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので  
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を  
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

夢の世界に捕らわれた子供達を助けるためにプリキュアが立ち上がる！再開した天  
馬達と共に！新たなプリキュア、ハピネスチャージプリキュアとサツカーで銀河を救つ  
たアースイレブンのメンバーも一緒に！そしてミラクルライトが天馬に奇跡を起こす  
！

# 目次

イナズマイレブンG O V S プリキュア  
オールスターZ！永遠の友達！ | 1



# イナズマイレブンGOVS。プリキュアオールスターズ！ 永遠の友達！

妖精学校

先生「2人共、近頃よく頑張ってますね。」

グレル「まあな！なんたつて俺達の夢はプリキュアの妖精になる事だから！なつ！」

先生「頼もしいですね。実はキミ達に頼みたい事があります、最近新しいプリキュアが誕生しました。その名も、ハピネスチャージプリキュア！」

グレル エンエン「ハピネスチャージプリキュア!?」

先生「わかっているのは名前だけ。そこでキミ達二人でこの教科書の為に新しいプリキュアの事を調べて来て欲しいのです！」

グレル「俺達が！」

エンエン「そんな重大な事を！」

先生「頑張り屋のキミ達を見込んでの事です！それにプリキュアの側に居れば学校では学べない事も学べるでしょう。行つてくれますか？」

グレル エンエン「はい！」

先生「そうそう! この教科書も差し上げましょう!」

エンエン「超次元教科書?」

パラツ

グレル「あつ! 天馬だ!」

エンエン「信助に神童君もいるよ!」

先生「彼らはこの世界、この子達の恩人です。天馬君達の事も授業で習おうと思つて作りました。二人は今でも天馬君と信助君のパートナーになろうと思つてますか?」

グレル「まあそれはあくまでプリキュアの妖精になれなかつたらの話だけどな。」

エンエン「うん。」

先生「そうですか、とにかくそのハピネスチャージプリキュアを調べに行つてきて欲しいのです!」

グレル エンエン「うわあ! いつときまーす!」

奈美のマンション

奈美「うーん」

奈美の夢

奈美「はつはつはつ、誰か助けて!」

悪夢「ホツホツホツ!」

奈美「あつ！」

悪夢「あくむく！」

奈美「きやあああ！」

すうううう

悪夢「ぎええええ！」

奈美「あつ・・・」

???「大丈夫？ 悪い夢を見たね。でももう大丈夫、悪夢は僕のお母さんが食べちゃった  
から！」

奈美「あなたは？」

ユメタ「僕はユメタ！ ようこそ夢の世界へ！」

ぼわーん

奈美「うあああ！」

ユメタ「キミへのプレゼントだよ！ 全部あげる！」

奈美「本当！」

ユメタ「ねえ、僕と友達になってくれる？」

奈美「うん！ 遊ぼうユメタ！」

???「遊びなさい、楽しい夢の中で。永遠に！」

ソリティア

グレル 「ここ」がソリティアか!」

エンエン 「うん、ドキドキプリキュアが集まる場所だね。皆僕達の事覚えてるかな?」

グレル 「覚えてるに決まってるだろ! だって友達じやないか!」

エンエン 「でも・・・」

ガチャ

グレル エンエン 「!」

アイちゃん 「?・・・」

グレル エンエン 「!?」

アイちゃん 「・・・こんにちは」

グレル エンエン 「こんにちは♪」

亜久里 「こんにちは、妖精さん。何かご用ですか?」

マナ 「妖精? あく! グレルだ!」

六花 「エンエン久しぶり!」

そして

マナ 「ハピネスチャージプリキュア?」

グレル 「ああ、最近生まれた新しいプリキュアだ!」

マナ「私の後輩か～！」

真琴「どんな子達なの？」

グレル「俺達もそれを調べに来たんだ！」

エンエン「でも、どこにいるかわからなくて」

シャルル「新しいプリキュアの妖精、リボンなら知ってるシャル。」

グレル「本當か！」

エンエン「連絡とつてもらえるかな？」

シャルル「任せるシャル！」

都会

マナ「ああああ、早く会いたいな～！樂しみ過ぎて胸のキュンキュン止まらないよ～！」  
ありす「でも・・少し遅いですわね。」

真琴「約束の時間、過ぎたけど？」

キヤスター「次は子供達に広がる謎の現象についてです！」

ドキドキP「？」

キヤスター「数日前から幼い子供達が眠つたまま、目覚めないと言う不思議な現象が  
起きています！病院で調べても異常はなく原因は不明との事です。眠りの子供達は日  
を追つて増えています！」

六花「子供達が眠り続ける?」

リボン「シャルルー! こっちですわ!」

シャルル「リボンシャル!」

リボン「ああ! いてて」

マナ「大丈夫?」

リボン「あっ、はい! はじめまして、妖精のリボンと申します! 時間に遅れてごめんなさい! じつはトラブルが起こりました。」

マナ「トラブル?」

六花「ちょっとマナ!」

亜久里「街中の茂みに顔を突っ込むだなんて一流のレディのする事ではありませんわ

!」

謎の少女「・・・」

大使館

ひめ「めぐみ! 起きて! めぐみ!」

キュツキュツ

ひめ「めぐみ! うひやひやひやひや! うける! あはははは!」

リボン「ど、このように、うちのめぐみがソファードでうたた寝したまま全く起きなく

なつてしまつたのです！」

エンエン「この二人が新しいプリキュア？」

ひめ「どうも・・・」

マナ「・・・ねえ、これってニュースで言つてたのと同じじゃない？」

ひめ「えつ？」

亜久里「今多くの子供達が目覚めないと言う不思議な現象が起こつて いるのです。」

ひめ「えー！ めぐみこのまま起きないの！」

ブルー「ちよつと待つて、・・・・・かすかに妖精の力を感じる。」

マナ「妖精の？」

ブルー「みんな、めぐみの夢の中へ入つて調べても来てくれないか？」

あります「そんな事が出来るのですか？」

リボン「こちらのブルー様は地球の神様であらせられますわ！ それくらいお茶の子さ

いさいですわ！」

ブルー「ではいくよ！ 鏡よ鏡、みんなを夢の中へ！」

キラーン

ブルー「行つたみたいだ。ん？ 力がされた？ まさかね。」

その頃

河川敷

天馬「河川敷についた! 気持ちいい風だ!」

信助「天馬!」

天馬「信助、葵!」

葵「お待たせ!」

信助「早速始めよう!」

天馬「うん!」

葵「ここを見ると本当に地球に帰ってきたって感じだよね。」

天馬「そうだね。」

グランドセレスタギヤラクシーの戦いを終えて地球に帰ってきた天馬達

キラーン

信助「あれ?なんか光つたよ?」

葵「えつ?光つた。」

天馬「前にもあつたよね。」

キラーン

天馬「あつ!」

夢の中

マナ達 「「うああああ！」」

ドーン

ブルー 「めぐみや子供達に何が起こっているのか見てきておくれ。」

ひめ 「もう、神様いきなりすぎるわ！」

マナ 「ここは・・・」

ひめ達 「うわ～！」

子供達 「あははは！」

真琴 「亀が空を飛んでいる！」

亜久里 「美味しそうなスイーツ・・・ではなくて、雲に乗っています！」

あります 「まあ！なんて素敵な世界ですの！」

マナ 「ヤーホー！ 気持ち～！」

六花 「ちょっとマナ！」

めぐみ 「あつはは！ はいど！ はいど！」

ひめ 「いた！ お～い！ めぐみ～！」

めぐみ 「あれ？ ひめじやん。やつほ～！」

クルン

ひめ達 「あっ！」

めぐみ「うああああ!!」

マナ「危ない!」

パシツ

マナ めぐみ「こんにちは!・・・はじめまして!・・・あははは!」

めぐみ「助けてくれてありがとう!私、愛乃めぐみ!」

マナ「私は相田マナ!」

マナ めぐみ「よろしくね!」

ひめ「んもくめぐみ、なにのんきに遊んでるのよ!」

めぐみ「だつて、ここすつごく楽しいんだもん!そちらのお菓子も食べ放題なんだよ

!」

ひめ「マジ!うわ夢みたい!」

リボン「夢ですわよ。」

奈美「捕まえた!じやあ次はユメタが鬼ね。」

ユメタ「うん、いっし、にい」

エンエン「ねえグレル。」

グレル「ん?なんだ。」

エンエン「あそこに居るの、ユメタじゃない!」

グレル「ほんとだ！おーい！ユメタ！」

ユメタ「？、えつ！グレル、エンエンどうしてここに？僕の事覚えてるの？」

グレル「えつ？当たり前だろ。俺達友達じゃやないか！」

ユメタ「友達。」

リボン「お知り合いですか？」

グレル「ああ、こいつはユメタ、前に妖精学校の同級生だつたんだ！」

エンエン「ユメタは夢の妖精、バクなんだよ！」

六花「バクは悪い夢を食べてくれるって言うけど、本当なの？」

ユメタ「うん、でも僕はまだ悪夢を食べられないんだ・・・怖くって・・・」

グレル「フハハ！そつか、俺達と同じだな！」

ユメタ「えつ？」

エンエン「僕らもプリキュアの妖精になるために勉強中なんだ。」

グレル「お互い頑張ろうぜ！もしダメなら天馬の妖精でもいいけどな。」

ユメタ「天馬？」

マナ「天馬君か、この世界、天馬君も喜ぶかも。」

ぬぐみ「天馬君？」

マナ「うん、松風天馬君つて名前でサツカーレのキヤブテンで私を助けてくれた恩人

なの。」

めぐみ「そうなんだ。」

ひめ「どんな人? とつてもカツコいい中学2年生?」

六花「天馬君は1年生よ。」

めぐみ ひめ「1年生!」

めぐみ「そよ風?」  
マナ「カツコいいと言うより・・風、そよ風のような感じだった!」

マナ「うん、ん?」

六花「マナ、どうしたの?」

マナ「・・あの子」

奈美「し~」

マナ「ニユースで写つてた!」

エンエン「えつ? と言うことは」

六花「ここに居るのは、眠り続ける子供達!」

グレル「おい、ユメタ! これどいうい」

ビューン

めぐみ「うー! えつ?」

ひめ 「何事！」

マナ 「子供達は!?」

??? 「子供達はみんな遊んでいるわ。」

六花 「あなたは！」

マアム 「私は夢の妖精マアム。ユメタの母親よ。」

グレル 「ユメタの・・・」

エンエン 「お母さん・・・」

マアム 「あそこはユメタと子供達の大切な夢の世界、勝手に入つてはダメよ。さあそこから出ていつてちようだい！」

マナ 「子供を残しては出ていけないよ！」

真琴 「なぜ子供達を夢の中に閉じ込めているの！」

マアム 「私はユメタの笑顔と夢を守りたいだけ、邪魔する者は許さない！」

ポン

悪夢 「ア～ク～ム！」

ひめ 「ひやああああ！」

めぐみ 「なんかすごいの出てきた！」

マアム 「私が吸い込んだ悪夢よ。さあ痛い目にあいたくなかったら出ておいき！」

マナ「言つたでしょ、子供達を置いて行けないって。みんな、いくよ!」

マナ 六花 ありす 真琴 「プリキュア・ラブリンク!」

亜久里 「プリキュア・ドレスアップ!」

ハート 「みなぎる愛! キュアハート!」

ダイヤモンド 「英知の光! キュアダイヤモンド!」

ロゼッタ 「日だまりポカポカ! キュアロゼッタ!」

ソード 「勇気の刃! キュアソード!」

エース 「愛の切り札! キュアエース!」

ドキドキP 「響け! 愛の鼓動! ドキドキプリキュア!」

ユメタ 「プリキュア! あの子達が!」

マアム 「誰だろうとユメタの笑顔を奪う者は許さないわ、悪夢!」

悪夢 「アーケーム!」

ハート 「はあ! やあ! ロゼッタ!」

ロゼッタ 「はい!」

悪夢 「アーム!」

グレル 「危ない!」

ロゼッタ 「プリキュア・ロゼッタリフレクション!」

ソード「プリキュア・スパークルソード！」

ドカーン

ソード「はあーー！」

ダイヤモンド「はあーー！」

悪夢「アクム！」

ダイヤモンド「やあーー！」

めぐみ「かつこいいー！」

ひめ「私の出る幕は無さそうね」

エース「ときめきなさい、エースショット！・ばきゅん！」

ドカーン

悪夢「アクムーー！」

パン

ひめ「すごいー！」

マアム「さすがはプリキュアね、でも。」

悪夢「しゃしゃしゃしゃ！」

ロゼッタ「倒した悪夢が！」

悪夢「アクムーー！」

ドキドキP 「きやあ!」

マアム 「悪夢を倒せるのはバクだけよ! 悪夢、やりなさい!」

ハート 「あつ!」

めぐみ 「危ない!」

天馬 「風穴ドライブ!」

悪夢 「アクム!」

ドーン

ハート 「えっ! 天馬君!」

天馬 「マナさん!」

めぐみ 「彼が天馬君!」

ダイヤモンド 「どうしてこの世界に?」

天馬 「それが」

悪夢 「アクム!」

ソード 「危ない!」

天馬 「Zスラッシュ!」

エース 「かわしました!」

信助 「ぶつとびジャンプ!」

悪夢「アクム！」

ドーン

ハート「信助君も！」

葵「皆さん！大丈夫ですか！」

ロゼッタ「葵ちゃん、あら？髪型変えました？」

葵「はい。」

めぐみ「あなたが天馬君なんだね。」

天馬「あなた達は？」

ハート「私の後輩プリキュアだよ。」

葵「それじゃ新しいプリキュアですか！」

めぐみ「うん、私、愛乃めぐみ！あなた事はさつき聞いたわ。」

ひめ「私、ひめ。」

リボン「私、リボンと申します！」

天馬「松風天馬です！」

信助「あれ？見かけないプリキュアが要るよ。」

ソード「そういえばそだつたわね。この子はキュアエースよ。」

エース「キュアエースの円亜久里ですわ。この子はパートナーのアイちゃん。」

アイちゃん「キュピ!」

葵「かわいい! よろしくね、アイちゃん!」

ダイヤモンド「それで天馬君達はどうして夢の世界に?」

天馬「河川敷でサツカーやろうとしたときに光が現れて、俺と信助と葵はこの世界に来たんです。」

リボン「もしかして、ブルー様の力に少しズレがあつたのでは」

葵「ブルー様って誰?」

めぐみ「地球の神様だよ。」

????? A 「さすがプリキュアの世界、神がいるのか。」

????? B 「それで俺はこの世界にいるんだな。」

天馬「神童さんに剣城! 三国先輩に霧野先輩、錦先輩! 水鳥さんと茜さんも!」

リボン「あの方達は?」

ソード「天馬君の仲間で私達と一緒に戦ってくれた仲間よ。」

エース「あなた達も光に吸い込まれたのですか?」

神童「ああ、そしたらここに。」

剣城「ずいぶん荒れた場所だ。」

悪夢「ア～ク～ム!」

ロゼッタ「あつ！」

葵「ありすさん！」

ロゼッタ「きやあ！」

???「ワイルドダンク！」

悪夢「アクム！」

パン

ひめ「なに！」

???「大丈夫か？」

ロゼッタ「はい、ありがとうございます。」

神童「井吹！」

井吹「久しぶりだな、神童！」

???「俺達もいるぜ！」

天馬「瞬木！みんなも！」

ソード「誰なの？」

剣城「宇宙でサツカーをやつた仲間です。」

ひめ「宇宙でサツカー!?」

神童「最初は素人だったけどな。」

めぐみ 「素人! そうなの!」

瞬木 「そうだぜ、俺は瞬木隼人、陸上部!」

さくら 「私、野咲さくら、新体操部。」

井吹 「井吹宗政だ、バスケ部!」

鉄角 「鉄角真、元ボクシング部。」

九坂 「九坂隆二ッス、共々部活経験なしッス。」

これは「ウチ、森村このは、ウチも部活経験ありません。」

真名部 「真名部陣一郎です、勉強一筋で帰宅部。」

皆帆 「皆帆和人、同じく帰宅部。」

座名九郎 「私、市川座名九郎と申します。歌舞伎俳優を演じております。」

めぐみ 「本当に素人なんだ。」

ダイヤモンド 「ん? ねえハート、市川君つて誰かに似てない?」

ハート 「えつ? · · · 確かに。ねえ、市川君つだつたね。」

座名九郎 「はい、市川座名九郎と申します。名もなき小市民です。」

ひめ 「名前あるでしょ!」

ソード 「あれ? 今瑟リフ?」

マアム 「何ごちやごちや言つてるの!」

悪夢「アクム～！」

天馬「また悪夢が！」

マアム「言つたはずよ、悪夢を倒せるのはバクだけって、出てお行き！」  
プリキュア「あつ！きやあああ！」

天馬「うああ！」

ユメタ「・・・」

グレル「ユメタ！」

エンエン「ユメタ！」

パリン

グレル エンエン「うあああ！」

ユメタ「・・・プリキュアが来た」

マアム「大丈夫よ、ユメタにはお母さんがついてるわ。ユメタの大好きな友達、大切な  
夢、必ず守つてあげる。」

ユメタ「・・・」

大使館

めぐみ「あ～、疲れた」

ひめ「あんな夢見た後じやね、ふう！」

めぐみ 「ん?」

ブルー 「僕もあの天馬君つて子に申し訳ない事してしまった。」

真琴 「それより、これからどうする?」

六花 「子供達を放つてはおけないわ!」

亜久里 「しかし、夢の中でどう立ち向かえばいいのか?」

マナ 「応援を呼ぼう!」

ドキドキP 「?」

マナ 「プリキュア全員に連絡をとつて力を貸してもらおうよ!」

グレル 「まつ、待つてくれ! プリキュア全員でユメタをやつつけるのか! あいつは悪い奴じやない!」

マナ 「そうだね。グレルとエンエンの友達だもんね。」

グレル エンエン 「えつ?」

マナ 「私達だけで出来ない事でもみんなで考えればいいアイデアが浮かぶと思うんだ

!」

六花 「子供達をどう助けるか、ユメタ君にどう話せばいいかみんなで考える、そう言

う事よね。」

マナ 「そう言う事!」

グレル エンエン 「ふう」

グレル 「そつか！ そうだな！」

エンエン 「よろしくお願ひします！」

めぐみ 「天馬君にも手伝つてもらおうよ！」

あります 「さすがにそれは無理だと思います。」

ひめ 「無理つて？」

六花 「天馬君達は別の次元の世界から来たのよ！」

めぐみ 「それじや天馬君達はこの世界にはいなつて事？」

マナ 「うん、あゝあ、天馬君に会つたのがほんの少しか」

ブルー 「まあ、今日はもう遅い、決行は明日にしよう。」

夢の世界

ママム 「ゆつくりお眠りなさい、プリキュア！ キュアブラック、キュアホワイト、シャイニールミナス、キュアブルーム、キュアイーグレット、プリキュア5、フレツシュブリキュア、ハートキヤツチプリキュア、スイートプリキュア、スマイルプリキュア、そしてドキドキプリキュア、プリキュア、戦いなど忘れて安らかに永遠にお休み。」

ユメタ 「あああ」

大使館

めぐみ 「あ～よく寝た！さあて、プリキュアのみんなに連絡・・・」

ガチャ

リボン 「大変ですわ！」

めぐみ 「リボン！どうしたの？」

リボン 「プリキュアが眠ったまま起きなくなつたそうですわ！」

ブルー 「プリキュア全員、夢の中に囚われてしまつたようだね。」

エンエン 「どうしよう、プリキュアがいなくなるなんて」

めぐみ 「いるよ！」

グレル 「えつ？」

めぐみ 「ここに要るじやん！2人も！」

ひめ 「えつ？ま、まさか、私達2人で悪夢と戦うつもり！」

めぐみ 「子供達と先輩達を助けるためにもう一度夢の中へ行こう！」

グレル 「俺も行く！」

エンエン 「僕も！」

ひめ 「はあ！あなた達わかってるの？これは凄く危険な事なんだよ！」

グレル 「わかつてる、でもプリキュアも子供達もユメタもこのままにしておけない！」

天馬だつたら絶対、なんとかなるって言うよ！」

めぐみ「わかつた、一緒に行こう！」

リボン「ひめはお留守番ですか？」

ひめ「うー、行くわよ！ 行けばいいんでしょ！ でも、まともに行つても敵わないわ、作戦を考えないと。」

めぐみ「いい方法があるよ！」

再び夢の中

ひめ「いい方法つてこれ？」

めぐみ「見つからないよう忍び込む、そう言うときは忍者でしょ。」

ガアアアア

めぐみ「なに！」

マアム「全く懲りないわね。」

ひめ「見つかるのはや！」

リボン「どうして!?」

マアム「言つたでしょ、ここは夢の妖精、バクの世界。侵入者はすぐにわかるわ！」

めぐみ「みつかつたらしようがない！ プリキュアのみんなはどこよ！」

マアム「プリキュア達は甘く幸せな夢の中、それぞれの思い描く最高な夢の中で楽し<sup>く</sup>過ごしてゐるわ。プリキュア達はもう目覚めない！ 大人しく出ていつた方が身のため

よ！」

グレル「ユメタのお母さん、ユメタに会わせてくれ！」

マアム「あなた達は？」

エンエン「僕達、妖精学校で一緒だったユメタの友達です！」

マアム「友達？ ユメタから聞いたことないわ。それに今まで一度もユメタに合いに来た事も連絡してきた事もない！」

グレル「そうだけど・・・」

エンエン「ユメタに会わせてください！ ちゃんと話がしたいんです！」

マアム「ユメタには他に友達がいるわ、あなた達は必要ない！ さあ出てお行き！ 出ていかない」と

めぐみ「そんなおどしには屈しません！ だつて私達はプリキュアだから！」

マアム「プリキュア!? 教科書に乗っていたプリキュアは全員捕らえたはず！」  
めぐみ「私達は新しいプリキュアです！ ひめ、いくよ！」

ひめ「もう、なんかこうなる気がしてたわ！」

そして

ガチャン

マアム「あなた達、弱すぎるわ。」

力チャ

めぐみ 「あれれ？」

マアム 「その中では変身出来ないから大人しくしてなさい。」

ひめ 「もう最悪！」

葵 「めぐみさん、ひめさん！」

めぐみ 「葵ちゃん！水鳥ちゃんに茜ちゃんも！」

茜 「捕まつちやつた。」

ひめ 「どうしてこの中に？元の世界に戻つたんじやなかつたの？」

水鳥 「戻れなかつたんだ！あの穴に落ちたらまたこの世界に戻つてな、そしたらあの  
バクに捕まつてこの中に。」

グレル 「そうだつたのか。」

リボン 「もしかしてブルー様の力で来たからブルー様の力でないと戻れないのでは

！」

めぐみ 「もしかして天馬君達もこの世界！」

葵 「はい、落とされた後はぐれてしまつたんです。」

エンエン 「捕まつていなければいいんだけど。」

葵 「何とかこの中から出ないと。」

茜 「でもどうやつて?」

めぐみ 「大丈夫だよ! こんな私のスーパーパンチで! とりやく!」

ゴーン

めぐみ 「いつた~! フー、フー」

ユメタ 「無駄だよ。」

グレル エンエン 「ユメタ!」

ユメタ 「夢の世界では僕のお母さんが一番強いんだ。」

グレル 「ユメタ、もうやめるんだ!」

エンエン 「こんなことしちゃいけないよ!」

ユメタ 「・・・どうして?」

グレル エンエン 「えつ?」

ユメタ 「悪夢を食べて、子供達に楽しい夢を見せるのが僕らバクの役目だ。でも・・・  
子供達が夢から目覚めると夢の事なんて忘れちゃう。どんなに仲良くなつても僕の事  
だつて忘れちゃうんだ、そんなの・・辛すぎるよ、そしたらお母さんがみんなを夢の中  
にとどめてくれたんだ、友達がずっと一緒にいてくれる。永遠に楽しい夢が続くんだ!  
僕も楽しいし、みんなも喜んでる。みんな幸せだよ、何がいけないの?」

グレル 「そ、それは・・・」

ユメタ「友達ならほつといてよ。」

めぐみ「友達だからほつとけないんだよ。」

ユメタ「えつ？」

ひめ「ふう、私、グレルとエンエンに忠告したんだよ。危険だつて、でも2人共友達のあなたをほつとけないつて言うから。」

エンエン「ユメタ」

ユメタ「心配してつて頼んでないよ！」

天馬「頼んでなくとも心配するから友達なんだ！」

葵「天馬！」

ユメタ「・・・」

天馬「グレルとエンエンはキミの友達だからここにいるんだ！」

神童「ああ、キミのお母さんがやつてる事は間違つてる。」

ユメタ「お母さんがやつてる事は間違つてないよ！僕の事はほつといてよ！」

瞬木「甘つたれるな！お前、その妖精の友達なんだろ、少しはそいつらの気持ちを考

えたらどうなんだ！」

ユメタ「大きなお世話だ！」

瞬木「うあ！」

エンエン「ユメタ!

グレル「ユメター!」

のぞみの夢

のぞみ「ん?」

女子生徒A「先生! のぞみ先生!」

女子生徒A「私が先生?」

女子生徒A「早く授業お願ひします!」

女子生徒B「私達、先生の授業が楽しみなんです!」

のぞみ「よし! では、張り切つて授業始めます! けつていい!」

咲の夢

咲「パンが焼き上がり、よし! お客様といっぱい、よし! 絶好調なり!」

ラブの夢

司会者「全日本ダンスコンテスト、優勝は、クローバーです!」

ラブ「私達とうとう優勝したんだ! 幸せゲットだよー!」

マナの夢

国会の人「新しい内閣総理大臣が決定しました。相田マナ君!」

マナ「はい! 私、なつたんだ! 夢の総理大臣に!」

## 夢の世界

ユメタ「お母さん」

マアム「ん？ ユメタ、どうしたの？」

ユメタ「あの！」

マアム「なあに？」

ユメタ「・・・」

マアム「何にも心配しなくていいのよ。お母さん、あなたの為なら何でもするわ、悲しみからも、危険からも守つてあげる。」

悪夢「ア～ク～ム！」

マアム「また誰かが悪夢を見てるわね。行かなくちゃ。」

ユメタ「お母さん、大丈夫？ 疲れてるんじや？」

マアム「疲れてても行かなくちや、悪夢をやつつけるのがバクの役目だもの！ ユメタは友達と遊んでなさい。いいわね。」

ユメタ「うん」

その頃

めぐみ グレル リボン 「くううううう！」

めぐみ「ダメだ！」

ひめ「世の中そんなに甘くないって。」

めぐみ「おかしいな? こう言うときはみんなで力を合わせれば開けられるはずなのに。」

瞬木「仕方ねえ、剣城、必殺技でこの檻を壊すぞ!」

皆帆「いや、その必要はないみたいだ。」

神童「皆帆?」

天馬「どういう事?」

皆帆「エンエンだったね。この教科書調べてごらん。」

エンエン「えつ?」

チャリン

エンエン「これは、鍵?」

めぐみ ひめ「まじ!」

ガチャ

めぐみ「あの子、この為に来てくれたんだね!」

ひめ「なんだ、凄くいい子じやない。」

リボン「でもどうしてわかつたのですか?」

皆帆「まず大事そうに持つてた物をいきなり瞬木君に投げた、あれは拾つてのような

ものだよ。そして教科書の間が少し浮かんでた、もしかしたらってね。」

めぐみ「凄い推理だね！」

皆帆「おそらく彼は素直になれなかつただけみたいだ。」

井吹「どこかの誰かさんみたいだな。」

瞬木「何で俺を見るんだよ？」

天馬「とにかくユメタを探そう。」

夢の世界の広場

奈美「美味しくい！こんなお菓子作りたいな。私、大きくなつたらパーティシエになるの。」

男の子A「僕は消防士になりたい！」

女の子「私はアイドル！」

ユメタ「いいよ、フウン！やあ！」

キラーン

女の子「わーい！」

男の子B「あれ？ 小さいままだぞ。」

奈美「ほんとだ、なんで？」

ユメタ「ごめんね、大人にはできないんだ。」

奈美「なんだ〜」

男子A「でもいいさ、大人にはなれるもんな。」

奈美「早く大きくなりたいな〜」

女子子「私も！」

離れた場所

ユメタ「はあ〜、ん?」

めぐみ「ヤツホー！」

ユメタ「ひいい！き、キミは？」

めぐみ「私、愛乃めぐみ。改めまして、よろしくね。」

グレル「よう」

エンエン「鍵、どうもありがとう。」

ユメタ「早く出ていきなよ。お母さんに見つかったらもう知らないよ。」

グレル「お前を放つて出ていくかよ！」

エンエン「ねえユメタ、覚えてる？妖精学校をやめるときキミが言つたこと。キミは

こう言つたんだよ。」

ユメタが妖精学校をやめるときの事

ユメタ「僕には将来の夢があります！だから夢を叶える為に学校やめます！」

今になつて

九坂「そんな立派な事を言つてたんだな。」

三国「夢を叶える為につか。」

グレル「だけど、お前の夢は子供達を閉じ込める事じゃないだろ！」

エンエン「キミの本当の夢は何？」

ユメタ「僕の夢は・・・ダメだよ！僕には無理だつたんだ！」

グレル「そんなことないって！」

エンエン「諦めずに頑張り続ければ夢は叶うよ！」

ユメタ「どうやつたつて叶わないんだよ！だつたら楽しいし夢の中で過ごした方がいいじゃないか！」

瞬木「現実から逃げる気かよ！そうやつたつて尻尾を巻いている気か、チビバク！」

ユメタ「チビとはなんだよ！」

瞬木「こんな都合の良すぎる事やつたつて楽しいと思つてるのか？」

天馬「そうだね、瞬木の言う通りだよ！」

ユメタ「そんなことないよ、ブリキュア達だつて夢の中で楽しんでるよ！」

めぐみ「じゃあ、見に行こうよ。」

グレル　エンエン　ユメタ「「えつ？」」

天馬「めぐみさん?」

めぐみ「プリキュアの皆が夢の中でどうしてるので、見てみようよ。」  
夢を見る場所

めぐみ「お医者さん、獣医さん、ピアニスト、小説家、漫画家、はあー! 夢色々だね。」  
さくら「アクセサリーにファッショングのデザイナー、お花屋さんもあるわ。」

これは「パン屋さんに女優さん、植物の研究者もある。」

井吹「何だかコタツで猫と丸まってるけど、これも夢なのか?」

天馬「マナさんは総理大臣か!」

ユメタ「ほら、プリキュアだつていい夢を楽しんでるじゃないか。」

霧野「まつ、キミが見ればそう見えるかも知れないが」

ひめ「そうでもなさそうよ。ほら」

真名部「この夢原のぞみさんって女性の夢がいい例ですね。」

のぞみの夢

のぞみ「花の色はうつりにけりな・・えと・・・何だつけ?」

ピカーン

のぞみ「えつ? えつ? えつ?」

スラスラスラ

パチパチパチパチ

のぞみ「・・・」

女子生徒A 「のぞみ先生、かつこいい！スラスラと出てくるなんてさすがです！」  
のぞみ「今のは私の実力じゃありません。これは都合のいい夢ですね。」

ユメタ「えつ？」

のぞみ「私の将来の夢は学校の先生になることです。夢を叶えるにはもつともつと勉強しなきやいけません。こんな風に本当に教壇に立てる日が来るよう頑張ります！  
楽しい夢をありがとう！」

ピキッ

マアム「今のは、まさか！」

再びのぞみの夢

女子生徒「どうしてですか？楽に夢が叶うならそれでいいじゃないですか。」  
のぞみ「ううん、夢は叶えればいいって物じゃないよ。だって夢は、なりたい自分になる事だから。だから、自分の力で頑張らなきや！」

夢の世界

ユメタ「・・・」

めぐみ「あなたにもあるんでしょ？頑張つて叶えたい夢。」

ユメタ「でも、僕には・・・」

ひめ「私、あなたの気持ちわかるわ。」

ユメタ「えつ?」

ひめ「このままじやダメだつて、わかってるけど怖くて勇気が出ない。私もそうだつたから。」

ユメタ「今は違うの?」

ひめ「今は友達がいるから。あなたにも居るじゃない、友達!」

グレル「ユメタ、お前の本当の夢を目指して頑張ろう!」

エンエン「僕達力になるから!」

ユメタ「・・・でも失敗したら」

さくら「でも失敗した後の成功が嬉しいのよ。」

めぐみ「さくらちゃん?」

さくら「私、キヤプテンの天馬に教わったの、失敗したからこそ成功が嬉しいって。」

葵「失敗しても何度でもやり直せるわ。」

九坂「そうだぜ! それに失敗は成功の父つて言うしな。」

真名部「九坂君、それを言うなら失敗は成功の母です。」

九坂「あつ、そうなのか!」

めぐみ 「天馬君。」

天馬 「はい？」

めぐみ 「あなたの夢は何？」

天馬 「俺の夢は」

マアム 「ユメタ！」

ユメタ 「お母さん」

マアム 「無事でよかつたわ、ユメタ、こっちへいらっしゃい。」

ユメタ 「・・・」

マアム 「どうしたの？さあおいで。」

ユメタ 「・・・」

マアム 「あなた達、ユメタに何を言つたの？」

瞬木 「決まつてるだろ、間違つてるつて説教してやつたんだよ！」

マアム 「なんですって！」

井吹 「おい、瞬木！」

剣城 「いや、どつちにしろやらなければならぬからな。」

錦 「やつてやるぜよ！」

マアム 「悪夢よ、私の息子に悪い事を吹き込むあの子達を飲み込みなさい！」

めぐみ 「皆さん、お待たせしました！」

ひめ 「いくわよ！」

めぐみ ひめ 「『プリキュア・くるりんミラーチェーンジ!』」

ラブリー 「世界に広がるビッグな愛！キュアラブリー！」

プリンセス 「天空に舞う蒼き風！キュアプリンセス！」

ハピネスチャージP 「ハピネス注入、幸せチャージ！ハピネスチャージプリキュア！」

天馬 「これがハピネスチャージプリキュア！」

さくら 「服装かわいい！」

悪夢A 「アクム！」

ラブリー 「たあ！」

悪夢B 「アクム！」

ラブリー 「きやあ！」

プリンセス 「やあ！」

悪夢C 「アクム、アクム！」

悪夢D 「ア～ク～ム！」

プリンセス 「きやあ！」

グレル 「ラブリー！」

エンエン 「プリンセス！」

マアム 「いくらプリキュアでも、悪夢には敵わないわ！」

ユメタ 「お母さん」

マアム 「悪夢、その子達もやりなさい！」

悪夢A 「アクム！」

神童 「来るぞ！」

九坂 「任せろ、オラオラメンチ!!」

悪夢A 「アツ！」

さくら 「いくわよ！ マーメイドスマッシュ!!」

悪夢A 「アクムー！」

グレル 「すげえ！」

真名部 「それでは僕達もいきますよ！」

皆帆 「うん！」

真名部 皆帆 「ウイニングロジック!!」「

悪夢B 「アクム!?」

剣城 「デスドロップG3!!」

悪夢B 「アクムー！」

リボン「すごいですわ！変身もしていないのに必殺技が出せるなんて！」

水鳥「本当はサツカーチするための必殺技なんだ。」

リボン「えつ、それじや昨日見せた技も！」

エンエン「でも変身なら出来るけど。」

天馬「ミキシトランス！アーサー！」

ラブリー「天馬君の髪の毛が変わった！」

天馬「王の剣!!」

悪夢C「アクム！」

プリンセス「本当にすごい！」

これは さくら「ここのはランデブー!!」

座名九郎「カブキブレイク!!」

悪夢D「アクム！」

マアム「何やつてるの！早く倒しなさい！」

ユメタ「・・・プリキュア」

咲の夢

咲「パンが全部綺麗に焼けてる、失敗ゼロ。毎日毎日お客様が行列、嬉しいけど：絶対おかしい！」

ピキッ

つぼみの夢

つぼみ「花が枯れない、これは現実ではありませんね。」  
ピキッ

マアム「またプリキュアの夢にヒビが！」

ラブリー「皆、作られた夢から出ようとしてるんだよ！」

マアム「どうしてわざわざ、甘い夢の中で楽しく過ごしてればいいのに。」

プリンセス「誰かに作られた夢じや心の底から楽しめないわよ！」

ユメタ「・・・」

こまちの夢

こまち「確かに現実は楽しいだけじゃありません、いやな事やつらい事あります。でもそういう事から目をそらしてはダメだと思うんです！」

うららの夢

うらら「うまい出来なくて落ち込む事もあるし、自分が情けなくて泣く事もあります。でも！」

やよいの夢

やよい「涙を乗り越えたら、きっと強くなれる！」

ラブの夢

ラブ「失敗しても大丈夫! やり直せばいいんだよ! 何度でも!」

ピキ

ラブリー プリンセス 「きやあ!」

天馬「うあ!」

マアム「痛い目にあいたくなかったら、大人しく言う通りにしていた方が懸命よ!」

水鳥「一体何体の悪夢を吸い込んだんだ!」

茜「さすがバク」

ラブリー「痛い目にあうとわかつてても、見て見るふりなんて出来ないよ!」

ユメタ「・・・」

悪夢D「ア～ク～ム! ニヒヒヒヒヒ!」

グレル エンエン 「うああ!」

りんの夢

りん「私は自分の嘘つきたくない、私の夢は、この情熱は、誰にも消せない!」

舞の夢

舞「自分の描いた夢だから、自分の力で羽ばたきたい!」

なおの夢

なお「大事な事だから直球勝負！自分の足で走らなきや！」

えりかの夢

えりか「自分の夢の種を育てられるのは自分だけだしね！」

響の夢

響「私は、私のメロディを皆心に響かせたい！」

みゆきの夢

みゆき「私は、皆と一緒に笑いたいな。」

かれんの夢

患者「つらい思いをしますよ、きっと怖い目にも合う」

かれん「そうですね。でも、私には友達が居ます、自分一人では難しい事でも、友達  
が一緒になら必ず乗り越えられます！」

夢の世界

ラブリー「やあ！」

プリンセス「危ない！やあ！」

ドカツ

プリンセス「うつ！」

ラブリー「ふあ！プリンセス！」

プリンセス「ラブリーはやつと出来た友達なのよ！ 悪夢になんか奪われてたまるもんですか！」

ラブリー「プリンセス」

悪夢B「アクム！」

井吹「ライジングスラッシュユ！」

悪夢B「アクム！」

瞬木「ん？ 1匹足りない・・・まさか！」

夢の見る場所

悪夢D「ニヒヒヒヒヒ！」

ユメタ「あ・・・」

悪夢D「がああ！」

グレル「ユメタ！ 力を貸してくれ！」

ユメタ「えっ!?」

エンエン「ユメタ！ 助けて！」

グレル「俺達の力だけじゃ無理だ！」

ユメタ「・・・」

グレル「頼む！ 助けてくれ！」

エンエン「ユメタ！」

グレル「ユメタ！」

グレル エンエン「「ユメタ！」」

ユメタ 「僕には無理だよ！」

グレル「！」

悪夢D「アクム！」

瞬木「パルクールアタツク!!」

悪夢「アクム～！」

エンエン「瞬木君！」

悪夢D「アクム～！」

グレル「まだ消えてない！」

ドサツ

悪夢D「フニ！」

パン

瞬木「えつ？」

グレル「あれは」

エンエン「助かつた、瞬木君もありがとう、よく来てくれたね。」

瞬木「ふざけた帽子を被つた悪夢が居なかつたからまさかと思つたからな。おいチビバク、現実から逃げる臆病者だけと思つたら友達すら助けられない薄情者だつたな。」

ユメタ「・・・」

瞬木「さあ行くぞ!」

グレル「待つてくれ、ユメタ、危ないからここで待つてろ!」

ユメタ「えつ?」

エンエン「今、悪夢の狙いはプリキュアと天馬達と僕達だけだから、キミには襲つて来ないと思うんだ。」

グレル「悪夢が怖いのにお前巻き込んでじまつたら悪いからな。俺達の事は気にするな!」

エンエン「僕達、プリキュアを見てくるから、また後でね!」

瞬木「済んだか?」

グレル「ああ!」

瞬木「(それにしてもさつきの金髪女は一体? あいつもプリキュアなのか)」

ユメタ「・・・」

マナの夢

マナ「私は皆とキュンキュンしたい!」

ユメタ「えつ」

マナ「自分が幸せな夢なんてそんなの全然いい夢じゃない！」

ユメタ「・・・うううううわーん！」

その頃

ラブリー プリンセス 「「うあ！」」

マアム「どんなに頑張つたってあなた達勝ち目はないわ。」

悪夢「「アクム！」」

奈美「?、何あれ？」

悪夢「「アクムーー！」」

奈美「・・・怪獸！」

子供達「「うわーん！」」

なぎさ「聞こえる！」

ラブ「子供達の泣き声が！」

マナ「行かなきや！」

ブルー「・・・」

トン

ピカーン

奈美 「ん?」

ブルー 「子供達よ、妖精達よ、皆に頼みがある! キミ達をプリキュア達を夢の世界から救う為に! 皆の応援が必要だ!」

グレル 「このミラクルライトでプリキュアにパワーを送るんだ!」

グレル エンエン 「それじゃあいくよ!」

キラー

グレル エンエン 「プリキュア! 頑張れ!」

子供達 「プリキュア! 頑張れ!」

キラーン

ラブリー 「力がわいてくる!」

井吹 「何が起きてるんだ!」

神童 「プリキュアに力を与えるミラクルライトの力だ!」

プリンセス 「皆、ありがとう!」

子供達 「プリキュア! 頑張れ!」

響 「皆が呼んでる!」

咲 「行こう!」

みゆき 「皆の笑顔を守るために!」

のぞみ 「皆の夢を守るために！」

プリキュア 「私達はプリキュアだから！」

ブルー 「鏡よ鏡、目覚めたプリキュア達を夢の世界へ！」

キラーン

瞬木 「なんだ！」

さくら 「空からたくさんの方々が！」

座名九郎 「こっち近づいています！」

神童 「来たか！」

剣城 「ええ！」

スガーン

ラブリー 「・・・あ！」

子供達 「プリキュア！」

ホワイト 「子供達を泣かせたの！」

ブラック 「あなた達ね！」

ラブリー 「先輩プリキュア来た！」

プリンセス 「すごーーー！」

天馬 「皆さん！」

ハート「天馬君！」

ハッピー「久しぶり！」

井吹「捕らわれてるプリキュアってこんなに居たのかよ！」

さくら「皆、服装かわいい！」

鉄角「あのキュアビートつて奴・・・タイプかも」

錦「相変わらず凄い数ぜよ！」

真名部「確かに凄い人數です！」

皆帆「うん、とても興味深いね！」

三国「どうやら夢の中から救えたみたいだな！」

瞬木「(おかしい・・・俺が見たあの金髪女がいない？あいつは一体

メロディ「あれは何？」

マーチ「ここはどこ？」

ハート「あれは悪夢の怪物！ここは夢の中の世界だよ！」

マリン「なんだ夢か〜、夢ならいつか」

エース「夢の世界を悪夢に支配されてしまつたら、見る夢全てが悪夢になつてしまい

ます！」

ロゼッタ「眠るのが怖くなってしまいますわ！」

マリン「なぬ！そりや困る！」

座名九郎「そう言うと思いましたよ。」

レモネード「…あの人誰かに似ていませんか？」

ドリーム「ううん、私も見たことがあるけど…」

ピーチ「確か天馬君の仲間のはずだけど」

マアム「悪夢達よ！プリキュアを捕まえなさい！」

悪夢「アクム！」

神童「天馬、俺達もいくぞ。」

天馬「はい、俺達アースイレブンの力を見せるぞ！」

ダイヤモンド「アースイレブン？」

ブラック「皆、いくよ！」

ハート「はあ！」

ダイヤモンド「あきれるほどたくさんいるわね、どうする？」

ラブリー「私に任せて下さい！ふつ！」

かわるんるん

ラブリー「プリキュア・くるりんミラーチェンジ！チエリーフラメンコ！プリキュア・

パッションドainaマイト！オツレ！」

悪夢 「「アクム!」」

ハート 「おお〜!」

ロゼッタ 「かつこいいですわ!」

ソード 「でもまだ来るわ!」

神童 「任せろ! はあ!」

クジヤク

キラーン

悪夢 「「アクム!」」

神童 「今だ! ディフィーズコード!」

悪夢達 「「アクム!」」

プリンセス 「何今の!」

ダイヤモンド 「神童君がクジヤクになつた!」

ハート 「何!? 今の化身!」

ソード 「化身じゃない、何か変だわ。」

葵 「あれはソウルです!」

ラブリー 「ソウル?」

葵 「地球の獣の力を秘めたものです天馬達アースイレブンにはその力が使えます!」

ハート「天馬達？天馬君にも使えるの！」

プリンセス「それじゃあ私も！」

ヒュー

ゴーン

プリンセス「あいつたー！」

ハート「空にもあんなにいっぱい！」

ブルーム「イーグレット、いくよ！」

イーグレット「ええ！」

悪夢「アクム！」

ブルーム「たあ！」

イーグレット「はあ！」

ブルーム「いつけ！」

イーグレット「たあ！」

悪夢「アクム！」

イーグレット「きやあ！」

ブルーム「イーグレット！大丈夫！」

イーグレット「大丈夫よ！」

悪夢「アクム！」

イーグレット「あつ！」

信助「ぶつとびパンチ！」

悪夢「アクム！」

信助「大丈夫ですか！」

ブルーム「ありがとうございます、信助君！」

夢「アクム！」

イーグレット「また来るわ！」

信助「大丈夫です美翔さん、絶対守ります！」

イーグレット「信助君・・」

ゴオー

悪夢「アクム!?」

ブルーム「飛んだ！」

信助「ぎんがロケット!!」

悪夢「アクム〜！」

ブルッサム「私も負けていられません！マリン、いきましょう！」  
マリン「やるつしゅー！」

プロツサム マリン 「集まれ！2つの花の力よ！プリキュア・フローラルパワー・  
フォルテツシモ！」

悪夢 「アクム～！」

マリン 「今年も決まつたしゅー！」

悪夢 「アクム！」

剣城 「バイシクルソード!!」

悪夢 「アクム～！」

プロツサム 「剣城君！」

剣城 「油断してるとやられますよー！」

ビート 「たあ！」

悪夢 「アーカム！」

ビート 「はっ！」

鉄角 「デッドストレート！」

悪夢 「アクム！」

鉄角 「大丈夫か！」

ビート 「ええ、あつ！」

鉄角 「目をそらすな！奴はただの悪夢じゃない、野獣だ！目をそらせば牙を向くぞー！」

ビート「またくるわ！」

鉄角「安心しろ、俺の野獣の力で守ってやる！うおお！」

バツファロー

パツション「牛！」

ムーンライト「あれはバツファローだわ！」

ドカドカドカ

鉄角「だあ！」

悪夢「があ！」

真名部「敵の動き、そして曲がるタイミングの速度、見えました！ディフェンス方程

式！」

悪夢「あ！」

真名部「今です！」

リズム「はあ！」

悪夢「アクム～！」

ベリー「あつ！」

悪夢「アークーム！」

霧野「蒼乃！今助けるぞ！戦旗士ブリュンヒルデ！ヴァルキリーフラッグ！」

悪夢「アクム～！」

ベリー「霧野君、ありがとう！」

霧野「いこう、俺達の力をあわせるぞ！」

ローズ「はあ！たあー！」

ドリーム「プリキュア・シユーティングスター！」

ドカーン

悪夢「アクム！」

皆帆「行かせないよ！トレースプレス!!」

悪夢「アツ！」

ドリーム「はあ！」

悪夢「アクム！」

ローズ「やるわね！」

悪夢「アクム～！」

皆帆「任せて！」

フクロウ

ローズ「フクロウ!?」

ドリーム「あの子も動物に！」

フォンフォン

悪夢「アクム！」

皆帆「真名部君！」

真名部「任せてください！」

ラーテル

ブルーム「何あれ？」

ブラツク「あれも動物なの？」

ギザツ

悪夢「アクーム！」

ブラツク「うそ！ありえない！」

パイン「あれはラーテルだわ！」

ブルーム「ラーテル？」

パイン「怖いもの知らずの動物で爪が強力なの。」

ハッピー「よし、私も！プリキュア・ハッピーシャワ」

ズルン

ハッピー「あつ！」

ゴーン

ルージュ「プリキュア・ファイアストライク！」  
マーチ「プリキュア・マーチシユート！」  
ドオーン

ルージュ「決まつた！ハッピーベッドアタック！」

マーチ「ナイス直球勝負！」

ハッピー「ふあ～い」

瞬木「やるな。」

悪夢「アクムー！」

瞬木「やる気か？倒せるもんなら倒してみろ！」

ハヤブサ

マーチ「彼も鳥に！」

ルージュ「あれはハヤブサ！」

ピィー

悪夢「アクム！」

レモネード「キュアピース、私達もいきましよう！」

ピース「ええ！」

ミサイル悪夢「にや！」

ドカドカドカドカ

レモネード ピース 「えつ？ええ～！」

ミント 「プリキュア・エメラルドソーサー！」

ドカーン

レモネード 「助かりました！」

シユツ

ピース 「うそ！」

ドカーン

アクア 「全弾命中！さすがね！」

シユツ

サニー 「あっ！」

ビューティ 「しまった！」

ルミナス 「危ない！」

三国 「フェンス・オブ・ガイア!!」

ドカーン

サンシャイン 「三国さん！」

三国 「間に合つたな！」

悪夢「アクム！」

井吹「任せろ！」

マンモス

サニー「象！」

アクア「違う、あれはマンモスだわ！」

ドサツ

悪夢「アクム！」

ミサイル悪夢「アクム～！」

好葉「このはロール!!」

ミサイル悪夢「「アクム！」」

ミント「凄い！」

悪夢「ア～ク～ム～！」

ピーチ「決めるよ、メロディー！」

メロディ「OK！」

ピーチ「プリキュア・ラブサンシャイン・フレッシュ！」

メロディ「駆け巡れ！トーンのリング！プリキュア・ミュージックロード！」

悪夢「アクム！ガア！」

神童「アインザツツ!!」

ドン

メロディ「神童君！」

ピーチ「大丈夫！」

神童「どうつてことない！ 剣城！」

剣城「てやあ！」

オオカミ

メロディ「あれつて！」

ピーチ「オオカミ！」

ドカツ

悪夢「アクム！」

マアム「プリキュア！ 全員消えなさい！」

バアン

プリキュア「あつー！」

アイちゃん「きゅびらつぱー！」

キラー

グレル「ナイスきゅびらつぱー！」

エンエン「アイちゃん凄い！」

茜「うん、かわいいだけじゃなく魔法も凄い！」

さくら「はあ！」

カモシカ

ビューティ「カモシカ！」

悪夢「アクム！」

ドサツ

悪夢「あ、アクム！」

さくら「ビューティフルフープ!!」

悪夢「アクム～！」

さくら「今よ！」

ビューティ「はい！プリキュア・ビューティブリザード！」

悪夢「アクム！」

鉄角「フットワークドロウ!!」

悪夢「アクム!?」

ビート「ビートソニック！」

悪夢「アクム！」

マアム 「こうなつたら、ボーグ悪夢! お行き!」

ボーグ悪夢 「アクム!」

ズシーン

ブロッサム 「きやあ!」

マリン 「どうすれ!」

皆帆 「どうやらボーグ悪夢は人工知能のようだ、あの奥にいるアンテナの悪夢を倒せばやつつけられる!」

サンシャイン 「でもどうやって!?」

皆帆 「任せて!」

ボーグ悪夢 「アクムー!」

皆帆 「あそこにUFO!!」

ボーグ悪夢 「アクム?」

タツ

ボーグ悪夢 「アクム!」

ラブリー 「えつ?」

プリキュア達 「・・・」

グレル 「なんだ? 今のは」

エンエン 「あれもサッカーする必殺技なのかな?」  
マアム 「何してるの! 早く仕留めなさい!」

皆帆 「あそこにUFO!!」

ボーグ悪夢 「アクム?」

タツ

ボーグ悪夢 「アクム!」

エンエン 「えつ・・・」

アンテナ悪夢 「アクム!」

皆帆 「あそこにUFO!!」

アンテナ悪夢 「アクム?」

皆帆 「今です!」

ムーンライト 「はあ!」

アンテナ悪夢 「アクム!」

ボーグ悪夢 「アクム!」

ドカーン

ブロッサム 「やりました!」

マリン 「でもよく引っ掛けたね。」

皆帆「あれこそ僕しか出来ない必殺技！」

グレル「いや、誰でも出来るぞ…それ」

好葉「はあ！」

フォックス

リズム「キツネ！」

ドカツ

悪夢「アクム！」

マアム「いですよ！メカ悪夢！」

メカ悪夢「アクム～！」

ブラツク「たああ！」

ホワイト「はああ！」

ゴオー

ホワイト「やああ！」

ゴオーン

ブラツク「はああ！」

ドオーン

ドカーン

操縦悪夢「アクム！・・！」

エース ムーンライト「[?]」

操縦悪夢「アクム～！」

ビサツ

エース「私達の寝首をかこうなど100年早いですわ、アデウ。」

ドカーン

座名九郎「いきます！ 我が獅子王の舞ご覧あれ！」

ライオン

イーグレット「ラツ、ライオン！」

ガオー

悪夢「アクムー！」

イーグレット「凄い！」

ホワイト「でもあの吠えまくつてるところ、誰かに似ているような？」

九坂「おんどりやー！」

グリズリー

ハッピー「熊になつた！」

ぐおお

悪夢「アクムーーー！」  
ギラン

悪夢「アクム！」

九坂「キョウボウヘッド!!」

悪夢「アクムーーー！」

錦「伝来宝刀!!」

悪夢「アクムーーー！」

天馬「いいぞみんな！俺も！はあ！」

ペガサス

ラブリー「ペガサス！」

ヒイイン

悪夢「アクム！」

ハート「凄い！」

ダイヤモンド「待つて！ソウルって地球の獣の力つて言つてたよね！ペガサスつて神話の生き物でしょ！」

神童「天馬のソウルは始めはホースだつたんだ。」

プリンセス「ホース？馬の事？」

剣城「はい！進化してペガサスになつたんです！」

悪夢「アクム！」

ロゼッタ「あつ！」

井吹「ゲキリンダンク！」

悪夢「アクムーーー！」

ロゼッタ「井吹さん！助かりました！」

井吹「おう！」

ユメタ「・・・プリキュア」

マアム「はあ、はあ！いくら悪夢を出しても打ち碎かれる！これがプリキュア！それにプリキュアを手助けしている子供達！でも負けられない！ユメタを守らなきや！」

ラブリー「ラブだね。」

マアム「！」

ラブリー「ユメタ君を守りたいって言うあなたの気持ち、とつてもラブだね。お母さんの愛情でユメタ君は優しい子になつたんだね。」

マアム「何が言いたいの？」

ラブリー「ユメタ君みたいな子が子供達を閉じ込める事を望んではいないと思うんだ！ユメタ君はちゃんと頑張れる子だよ！信じてあげて！」

天馬「あなたがユメタのお母さんならユメタの気持ち、わかるはずだ！」

マアム「何を言つてゐる！ユメタの事は母親の私が一番よくわかつてゐるわ。だからユメタの幸せを考えて夢を叶えて」

剣城「ユメタの夢？ 果たしてそう言えるのか。」

プリンセス「そうよ！ それはユメタ君の夢じやなくて、あなたの夢だわ！ 我が子を守りたくて、守りすぎて、ユメタ君を閉じ込めている！」

ユメタ「・・・」

瞬木「今は現実の世界の母親達は起きない子供達を見て悲しんでるんだ！ あんたも母親なら子供達の事も、他の母親の気持ちも考えてみろ！」

マアム「お黙り！ お黙り！！」

ユメタ「！」

涙が乗り越えたら、きっと強くなれる！

ユメタ「・・・」

失敗しても大丈夫！ やり直せばいいんだよ。何度も！

ユメタ「グレル・・エンエン」

痛い目にあうとわかつても、見てみるふりなんかできないよ！

ユメタ「プリキュア」

ユメタの事は友達、大切な夢、必ず守つてあげる。

ユメタ「お母さん」

自分だけ幸せになる夢なんてそんなの全然いい夢じやない！

ユメタ「お母さん・・・もうやめて！」

ガアン

グレル エンエン 「あつ！」

マアム 「まあ！」

ユメタ 「くううう！」

グレル エンエン 「「ユメタ！」」

ユメタ 「やあー！」

マアム 「あー！」

スウウ

マアム 「ユメタ！ あなた、悪夢を！」

ユメタ 「お母さん、ごめんなさい！ 僕が弱虫だからいつも心配かけてお母さんにこんなことさせて！」

マアム 「何言つてるの！ いいのよ、あなたを守るためにならお母さん何だつて」

ユメタ 「守つてくれるるのは嬉しいよ！ でも、子供達には将来の夢が、未来がある、僕

の為にみんなの未来を犠牲には出来ないよ!」

マアム「?」

ユメタ「辛くとも、苦しくても、僕は自分の力で頑張りたい! プリキュアみたいに!」  
マアム「ユメタ…お母さんはあなたの悲しむ姿を見たくなかつたの! ただ、あなた  
を守りたくつて…それが…間違つてたの」

子供達「うわああ!」

ミューズ「はあ!」

神童「フォルテシモ!!」

霧野「どうしたんだ!? 突然子供達を襲い始めたぞ!」

マアム「子供達には手を出すなど教えたじやない!」

スウウ

マアム「うつ、ああ」

バタツ

ユメタ「お母さん!」

マアム「悪夢を吸い込めない」

天馬「どうしたんだ!?」

リボン「力を使いすぎたんですね!」

瞬木「それじやあ今のは悪夢達は！」

剣城「自分の意識で動いてるって事か！」

悪夢達「「アクム」、アクム」、アクム」」

ブルーム「やあ！」

イーグレット「たあ！」

井吹「ワイルドダンク!!」

九坂「キヨウボウヘッド!!」

悪夢「アクムーーー！」

イーグレット「何度倒しても蘇てくる！」

アクア「私達の力じや浄化できないつて事!?!」

ミント「まさしく悪夢」

グレル「これじやきりがないぞ！」

エンエン「何か方法は?」

ユメタ「バクの力だ！」

エンエン「えつ?」

ユメタ「バクの力なら悪夢をやつつけられる！プリキュアとバクの力が合わされば！」

僕が行く！」

マアム「待ちなさいユメタ！ 行つちやダメよ、危ないわ！」

ユメタ「でも僕はバクだ！ お母さんいつも言つてるじゃないか！ 悪夢をやつつけるのがバクの役目だつて！ 悪夢をやつつけてみんなの夢を守らなきや！」

マアム「ユメタ…」

ユメタ「行かせて！ お母さん、お願ひ！」

瞬木「俺からも頼む。」

ラブリー「瞬木君。」

瞬木「見直したぜ！ まさか友達ですら守れなかつたチビバクが頼もしくなるとはな。我が子なら子供の成長を見守るのも大切だぜ。」

マアム「…わかつたわ、ユメタ、行つてらつしやい。お母さんここで見てるわ。しつかりね。」

ユメタ「うん！」

悪夢「アクム！」

ラブリー「プリンセス」「ふつ！ はあ！」

ユメタ「怖いけど、プリキュアが居る！」

グレル「ユメタ、もうすぐだ！」

エンエン「頑張つて！」

ユメタ「うん！友達が居る！」

悪夢「アクム！」

天馬「ゴッドウインド!!」

瞬木 剣城「「プラックドーン!!」

悪夢「アクム～！」

ユメタ「そして、天馬達も居る！僕は一人じゃない！」

ハート「はあ！」

ユメタ「キュアハート！僕の力を受け取つて！」

ハート「ユメタ君！」

キラーン

ハート「あなたに届け！マイスイートハート！」

ニューン

グレル「悪夢が消えた！」

ユメタ「プリキュアのみんな！」

ブラツク「はあ！」

ブラツク達「「プリキュア・コラボレーションパンチ！ニューステージ！」」

悪夢「アクム～！」

プリンセス「すごい！ってなんかラブリーもちゃつかり混じってたし！待つてよ！」

グレル「ユメタ、天馬達にもできないか？」

ユメタ「やつてみる！天馬！」

天馬「うん！神童さん！」

神童「よし、いくぞ！神のタクトF.I.!!」  
ラブリー「なにあれ！」

プリンセス「手から火を出した！」

神童「霧野！鉄角！錦！市川！」

座名九郎「ほつ！」

天馬「いけ！座名九郎！」

座名九郎「決める！今ここに再誕する！グレートマックスなオレ!!スーパーパー!!」  
悪夢達「〔アクムー!!〕

プリンセス「すごい威力と同時にすごい技名」

ラブリー「どうしたのみんな？」

ダイヤモンド「どうしたのつて」

ハート「あの技は確か・・」

剣城 「天馬、俺達もいくぞ！」

天馬 「うん！」

剣城 天馬 「たあああ！ ファイアトルネードDD！」

悪夢 「アクムー！」

ハート 「きたー！ ファイアトルネードDD！」

ラブリー 「なに今の！ カツコいい！」

悪夢 「アクム！」

天馬 「うああ！」

神童 信助 「天馬！」

悪夢 「アクムー！」

子供達 「うああ！」

ドカーン

グレル 「子供達が！」

エンエン 「やられちゃつた」

ラブリー 「ひどい！」

ニユーン

レモネード 「地面に消えました！」

ルージュ 「何をするつもり!?」

ビッグ悪夢 「集まれ! 集まれ! 悪夢!」

プリキュア 「あつ!」

ビッグ悪夢 「アクムー!」

マリン 「でつかくなつちやつた!」

天馬 「うん・・・あつ! なんだ?」

グレル 「天馬! プリキュア達がこの中に!」

天馬 「なんだつて!」

ビッグ悪夢の中

ラブリー 「ここは一体!」

神童 「どうやらあの悪夢の中に閉じ込められたようだ!」

マリン 「なんかやな感じ」

ゴオーン

ピース 「なにあれ!」

ハッピー 「とにかく早く倒しても外に脱出しないと!」

ピース 「プリキュア・ピースサンダー!」

ビッグ悪夢 「アクムー!」

信助「はああ！護星神タイタニアス！マジン・ザ・ハンド!!」

ズズー

信助「すごいパワーだ！」

ドリーム ルージュ レモネード 「「「はああ！」」」

ドリーム「はあ！」

ルージュ「やあ！」

レモネード「たあ！」

ビッグ悪夢「アクム～！」

ローズ マーチ「「たあああ～！」」

ビッグ悪夢「アクム～！」

ローズ マーチ「「やああ～！」」

ビッグ悪夢「アクム～！」

ミント「危ない！」

パリン

ミント ロゼッタ「「きやあ～！」」

ビッグ悪夢「アクム～！」

霧野「ディープミスト!!」

三国 「無頼ハンド!!」

神童 剣城 錦 「「「はあああー!」「」」

神童 「奏者マエストロ!」

剣城 「剣聖ランスロット!」

錦 「戦国武神ムサシ!」

神童 「ハーモニクス!!」

剣城 「ロストエンジェル!!」

錦 「武神連斬!!」

ドカーン

ビッグ悪夢 「効くか!」

井吹 「神童! ソウルで奴を倒すぞ!」

神童 「よし、いくぞ!」

すべてのソウル

ビッグ悪夢 「同じだ!」

アースイレブン 「うあ!」

ベリー 「あの大きな腕が厄介だわ!」

アクア 「バランスを崩して隙を作りましよう!」

マリン「合点承知！」

ブロッサム「プリキュア・ピンクフォルテウェーブ！」

マリン「プリキュア・ブルーフォルテウェーブ！」

ビッグ悪夢「アクムーー！」

ドオーン

ホワイト「プリキュアの美しき魂が！」

ブラック「邪悪な心を打ち碎く！」

ブラック ホワイト「プリキュア・マーブルスクリュー・マックス！」

ズバーン

ビッグ悪夢「アクムーー！」

三国「また復活したのか！」

ビッグ悪夢「プリキュアだけでは悪夢は消せない！バクがいなければ！」

その頃外にいる天馬

天馬「たあああ！真マツハウインド!!」

ガアン

天馬「ダメか！」

黒悪夢「アクムーー！」

ユメタ 「あつ！」

グレル 「ユメタ！」

エンエン 「危ない！」

ユメタ 「グレル！ エンエン！」

黒悪夢 「アクム！」

天馬 「魔神ペガサスアーヴ！ アームド！」

ガアン

天馬 「うおおお！」

ドカーン

天馬 「うあ！」

グレル 「天馬！」

天馬 「大丈夫？」

エンエン 「うん！」

黒悪夢 「アクム！」

グレル 「今度は俺達が！」

エンエン 「天馬とユメタを守つてみせる！」

グレル エンエン 「絶対守るんだ！ 僕達の友達を！」

少女「！」

ピカーン

葵「なに!?」

光の空間

エンエン「ここは?」

天馬「何が起きたんだ?」

???「グレル、エンエン。あなた達ね、私を呼んだのは。」

グレル エンエン「はつ!」

???「友達を助けたい、そんなあなた達の声が聞こえたの。」

エンエン「君はだあれ?」

あゆみ「私は坂上あゆみ、プリキュアよ!」

グレル「プリキュア?でも教科書に君のことは・・・」

エンエン「僕、先生から聞いた事がある、たつた一度だけ変身した幻のプリキュアがいるって!」

グレル「幻のプリキュア!」

天馬「そんなプリキュアがいたんだ。」

あゆみ「はじめまして、松風天馬君。」

天馬「えつ! どうして俺の名前を!?」

あゆみ「これよ。」

天馬「あれは! 俺達がマナさんやグレル達と出会ったときの!」

あゆみ「あなたはすごいわ、1年生でみんなをまとめる力がある心と優しさ。」

天馬「あゆみさんはグレルとエンエンの声を聞いてこの世界に来たんですか!」

あゆみ「ええ、私にはパートナーの妖精がいないの。私もあなた達と同じように友達を、プリキュアのみんなを助けたい! 力を貸して!」

天馬「グレル、エンエン、見つかったのかもしれない。君達のプリキュアが!」

グレル エンエン 「うん!」

キラー

あゆみ グレル エンエン 「みんなの思いを守るために! 心を1つに!」

キラーン

エコー 「思いよ届け! キュアエコー!」

グレル 「キュアエコー!」

エンエン 「僕らのプリキュア!」

天馬 「あれがあゆみさん!」

ユメタ 「グレル、エンエン、本当だね! 飽きられずに頑張れば夢は叶う!」

エコー「世界に響け！みんなの思い！プリキュア・ハートフル・エコー！」

天馬「あの暗い雲が消えていく！悪夢も弱つてる！」

エコー「天馬君！今よ！」

天馬「はい！はあああ！魔神ペガサスアーヴ！ジャステイスウイニング！」

ドカーン

ラブリー「なに！」

剣城「今のは天馬の化身シユート技、ジャステイスウイニングだ！」

メロディ「あれは！」

ハッピー「あゆみちゃん！いや、キュアエコー！」

神童「誰だ？あいつもプリキュアなのか？」

天馬「神童さん！」

信助「天馬！」

神童「天馬、あいつは誰だ？」

す！」

信助「グレルとエンエン、プリキュアの妖精になれたの！」

ビッグ悪夢「アクム！」

瞬木「また復活しやがった！」

ラブリー「天馬君、みんな、後は私達に任せてあなた達は逃げて！」

天馬「そうはいきません！ はあ！」

ペガサス

ビッグ悪夢「アクム！」

天馬「うあ！」

ハート「天馬君！」

天馬「ソウルが通じない！」

霧野「化身シユートもダメだつたんだ！」

エコー「あなたも限界よ、早く子供達の所へ！」

天馬「ダメです！」

ラブリー「天馬君！」

プリンセス「サツカ一の必殺技や不思議な力があつても普通の人間なのにどうしてそこまでやるの!?」

天馬「一度逃げたらこの先も逃げ続けなきやならなくなる、だから逃げちゃダメだ！」

??? 「よく言つたぞ！ 天馬！」

天馬「えつ、円堂監督！」

エンエン「誰？」

葵「私達の学校の監督よ！」

信助「あなた達はレジエンドジャパンの皆さん！」

神童「鬼道さん！佐久間さん！綱海さん！」

剣城「豪炎寺さん！ヒロトさん！不動さん！」

霧野「風丸さん！壁山さん！吹雪さん！」

錦「染岡師匠！」

三国「それに飛鷹さん！虎丸さん！木戸川の監督のアフロディイさん！」

神童「どうしてこの世界に!?」

鬼道「突然俺達の前に光が現れた！そしてこの世界に来た！」

豪炎寺「そしたらお前達がその化け物と戦つてる所を目撃したと言う訛だ！」

グレル「ミラクルライトだ！ミラクルライトである人達をこの世界に引き込んだんだ

！」

円堂「天馬！俺達も戦う！子供の姿でな！」

プリキュア達「?」

円堂「行こうぜ！」

レジエンドジャパン 「おう!」

キラーン

ラブリー 「大人の人達が!?」

ハート 「子供になつた!」

グレル 「どうなつてんだ!?」

水鳥 「あの時と同じだ!」

エンエン 「あの時?」

葵 「以前私達は強敵の組織に連れてかれた事があるの。その時監督達はあの姿になつた事があるの。」

ユメタ 「そんなことが出来るの!」

円堂 「みんな、ここからは俺達に任せろ!」

ビッグ悪夢 「フツ! 仲間が増えたところで状況は変わらない。消された子供達のようにしてやるよ!」

??? 「子供達は消されてなどいない!」

ラブリー 「えつ!?」

プリンセス 「誰!?!」

バサバサ

ハート「あれ！」

ダイヤモンド「鳥？」

天馬「神童さん、あれつて！」

神童「長老？」

グレル「見ろ！鳥達の足！」

エンエン「悪夢の攻撃で消された子供達だ！」

タツ

ログロス「久しぶりだな。アースイレブン。」

キュアラブリー「えつ？あなたの知り合い？」

井吹「ああ、なんでこの世界に!?」

ログロス「突然変な光が現れてな。そしたらここにいたと言う訳だ。」

リボン「まさかミラクルライトの力で！」

ログロス「ギリギリだつたぞ、子供達を助けるのに。」

エース「それでは子供達は全員無事なのですね！」

ログロス「プリキュアの諸君、お主達の元に新たな味方が現れるであろう。」

ソード「新たな味方？」

ログロス「來たぞ！」

ラブリー 「えつ?」

天馬 「カゼルマ! みんな!」

剣城 「ファラム四天王!」

アルベガ 「お前達の状況、全てこの光で見させてもらつた!」

カゼルマ 「天馬! 悪夢を倒す戦い、我々も助つ人する!」

バルガ 「まかせな!」

天馬 「みんな!」

リュゲル 「気持ちを1つにすれば勝てる! みんなで力を合わせるんだ!」

ガンダレス 「スゲーよリュゲル兄! 決まつてるよ!」

リュゲル 「言うなよガンダレス、それ以上何も言うな。」

ブラック 「誰なの? あの人達?」

ホワイト 「人つて感じにも見えないけど」

神童 「あいつらは俺達の世界の各星から来た奴らだ。」

ハート 「それって···」

プリキュア達 「宇宙人!」

ロダン 「まつ、驚くのも無理はないよね、につしつし」

グレル 「宇宙人がなんで」

ララヤ「ソナタ達の持つ光が彼らを呼んだのじゃ！」  
エンエン「えつ!? 誰なの！」

カトラ「私達は天馬達によつて救われた者です！」

天馬「カトラ！」

剣城「ララヤも来てたのか！」

ポワイ「さあ、あなた達はあつちに。」

天馬「でも」

ヒラリ「誰も逃げなさいつて言つてないわ。」

バンダJr.「今は僕達とプリキュアの皆さんに任せてくれださい！」

円堂「そう言うことだ。プリキュア！」

ラブリー「よろしくお願ひします！」

アルベガ「いくぞ！ 我らギャラクシーアイレブン、再出撃だ！」

ユメタ「ギャラクシーアイレブン」

豪炎寺「円堂、いつもの合言葉を。」

円堂「ああ、さあみんな！ サッカーやろうぜ！」

レジエンドジャパン「おう！」

ビッグ悪夢「いけ！ 悪夢！」

悪夢 「アクム!」

アフロディ 「ヘブンズタイム!」

パチン

スツ

パチン

悪夢 「!?」

ビュ一

悪夢 「アクムーーー！」

ダイヤモンド 「悪夢を吹つ飛ばした！」

バズーカ悪夢 「アクム！」

ドン

壁山 「ザ・ウォール!!」

ガン

風丸 「俺もいくぜ！ 疾風ダッシュユ!!」

悪夢 「アクム!?」

ホワイト 「速い！」

染岡 「いくぜ悪夢！ ドラゴンクラッシュユ!!」

カゼルマ「ダストシャベリン!!」

悪夢「アクムー！」

錦「あれが師匠のドラゴンクラッショウ！」

ピース「そして宇宙人の必殺技！」

豪炎寺「ファイアトルネード!!」

天馬「あれが！」

剣城「豪炎寺さんの伝説のファイアトルネード！」

ハート「あれが！」

悪魔「アクム！」

バルガ「ロックハンマー!!」

ロガン「カザンライ!!」

悪夢「アクム！」

鬼道「佐久間！不動！」

佐久間 不動「おう！」

ピィー

リズム「ペンギン!?」

鬼道「皇帝ペンギン！」

佐久間 不動 「2号!!」

プリンセス 「ペンギンが飛んでる!」

悪夢 「アクムー!」

バズーカ悪夢 「アクム!」

ドン

円堂 「ゴッドハンド!!」

しゅく

三国 「これが伝説のゴッドハンド!」

神童 「すごい!」

ポワイ 「リキッドフロウ!!」

悪魔 「アクム!?」

鬼道 佐久間 「ツインブースト!!」

悪魔 「アクムー!」

エンエン 「すごい! めちゃくちゃ強いよ!」

悪魔 「アクム!」

アルベガ 「ボルケイノヘッド!!」

悪魔 「アクム!」

ハート「はあ！」

悪魔「アクム！」

染岡 豪炎寺「「ドラゴントルネード!!」

悪魔「アクム!!！」

ダイヤモンド ソード「「はああ！」

悪魔「アクム！」

綱海「「ナイスだぜ！ツナミブースト!!」

リュゲル ガンダレス「「スクリーム・オブ・エデン!!」

悪魔「アクム!!！」

バズーカ悪魔「アクム！」

子供達「「うわわ!!」

ブラツク「危ない!!」

飛鷹「とりやああ！真空魔!!」

バズーカ悪魔「アクム!!？」

虎丸「タイガードライブ!!」

バズーカ悪魔「アクム!!！」

ヒロト「流星ブレード!!」

吹雪 「吹き荒れろ! エターナルブリザード!!」

バンダJr. 「ギガントバイン!!」

悪夢 「アクム〜!」

ヒラリ 「ジャックナイフ!!」

吹雪 「アイスグランド!!」

悪夢 「アクム!」

吹雪 「今だよ! プリキュアのみんな!」

ラブリー 「はい! たあ!」

悪夢 「アクム〜!」

円堂 「正義の鉄拳!!」

悪夢 「アクム〜!」

豪炎寺 壁山 「イナズマ落とし!!」

悪夢 「アクム!」

ブラツク 「やつた! 後はあの親玉だけだわ!」

ビッグ悪夢 「なめるな! はあ!」

アルベガ 「うおおお!」

ゴウリュウ

マリン「ゾウル！」

パイン「しかも見たことない生き物！あれば宇宙生物！」

豪炎寺「爆熱ストーム!!」

染岡「ワイバーンクラッシユ!!」

ビッグ悪夢「ぐあ！はあ！」

円堂「マジン・ザ・ハンド!!」

しゅく

ブルーム「止めた！」

イーグレット「マジン・ザ・ハンド？それって信助君の」

信助「マジン・ザ・ハンドは化身技になる前に出てきた必殺技です！」

ビッグ悪夢「くそ！」

バンダJr.「はあ！」

グスフイー

ポンポンポン

ビッグ悪夢「うつ！」

アフロディ「ゴッドノウズ!!」

吹雪「ウルフレジエンド!!」

円堂「メガトンヘッド!!」

ビッグ悪夢「うあ！」

リュゲル ガンダレス 「うおお！」

ベリオン

ペリオン

ビッグ悪夢「ぐあ！」

カゼルマ「はああ！」

ボワイ「やああ！」

ドーマ

ドルフイヌ

ビッグ悪夢「うあ！」

風丸「いくぜ！豪炎寺！」

豪炎寺「おう！」

染岡「久しぶりに決めるぜ！吹雪！」

吹雪「うん！」

風丸 豪炎寺「炎の風見鶏!!」

染岡 吹雪「ワイバーンブリザード!!」

ビッグ悪夢 「ぐああ！」

メロディ 「すゞい！」

プロツサム 「どれもカツコいいです！」

バルガ 「ぐおおお！」

ガンドラン

ビッグ悪夢 「うわ！ おのれーー！」

ヒラリ 「はああ！」

フェニキアス

キラーン

ビッグ悪夢 「うあ！」

ロダン 「はあ！」

ドルーガ

ビッグ悪夢 「ぐあ！」

ハート 「決ました！」

ビッグ悪夢 「くそ、 はあ！」

神童 「さつきのよりデカイ！」

天馬 「円堂監督！」

円堂「はああ! 魔神! グレイト!」

ブラツク「化身!」

円堂「グレイト・ザ・ハンド!!」

しゅく

ホワイト「止めた!」

ラブリー「これならいけるよ!」

ビッグ悪夢「ふつ、どうかな? はあ!」

円堂「グレイト・ザ・ハンド!!」

ドカツ

円堂「ぐあ!」

レジエンドジャパン「うわあ!」

ギャラクシーイレブン「ぐあ!」

プリンセス「みんな!」

ダイヤモンド「そんな!」

ビッグ悪夢「ふつふつふつ、そのくらいで倒せると思つてゐるのか?」

円堂「まだ終わらないぞ!」

ハート「まだ立てるんですか!」

鬼道「諦めないのが俺達の最強の必殺技なんですね。」

ブラツク「私達と同じなんですね。」

天馬「円堂監督、俺達も参戦します！」

円堂「天馬。」

ラブリー「でもあなた達はかなりダメージが」

天馬「大丈夫です！みんなが力を会わせれば何とかなります！」

グレル「天馬・・・はつ、そうだ！」

エンエン「グレル？どうするの。」

グレル「ミラクルライトで天馬に力を与えるんだ！」

リボン「でもミラクルライトはプリキュアにしか効果がないのでは？」

グレル「わかってる・・・でも天馬達を信じていれば奇跡が起きるかも知れないんだ！」

エンエン「グレル・・・わかつた！出来るかどうかわからないけどやつてみよう！」

グレル「おう！天馬！みんな！頑張れ！」

子供達「頑張れ～！」

グレル「頼む！1人だけでもいい！力を与えてくれ！」

キラーン

天馬「これは！」

円堂「力がみなぎつてくる！」

エンエン「やつたの!?」

ビッグ悪夢「これで最後だ！」

円堂「止めてみせる！たあああ！魔神グレイト！アームド！」

神童「円堂監督が化身アームド！」

円堂「ゴッドハンドV!!」

しゅく

ビッグ悪夢「なに!?」

ラブリー「すごい！」

天馬「よし、俺も！」

瞬木「待てよ、あんた、いつまでもキャプテンづらしてるんだよ。」

天馬「えつ？」

ラブリー「瞬木君！」

瞬木「今俺達が必要なのはキャプテン、アンタじゃない。松風天馬、アンタだ！もう一度俺に見せてくれよ！アンタの嵐を！」

天馬「・・・わかつた、見せてやる！俺の力を！」

タツ

ビッグ悪夢 「やられに来たか！」

スツ

ビッグ悪夢 「この！」

天馬 「たあ！」

ビッグ悪夢 「こしやくな！」

ビューン

ラブリー 「天馬君！」

プリンセス 「なに!? この動き！」

ハート 「速い！」

グレル 「すげえ！ これがミラクルライトでパワーアップした天馬なんだ！」

ブルー 「いや、違うみいだ。」

リボン 「ブルー様！」

茜 「この人が神様！」

ブルー 「あの動きを見る限りあれは天馬君の本来の動き、ミラクルライトは持つてると以上の力を引き出す、だから円堂君は化身を身にまとつた。彼は一体何が・・・それに彼の動き、まるでサッカーをしてるみたいだ。」

グレル 「サッカーツて・・・そうかドリブルだ！」

エンエン 「えつ?」

グレル 「教科書に書いてあつたんだよ! 天馬の得意技はドリブルだつて!」

葵 「そうよ、あれが天馬の本当の姿よ!」

ユメタ 「えつ?」

葵 「瞬木君はあの天馬をまた見る為にあんなこと言つたのよ。」

グレル 「また?」

エンエン 「前にも言つたの?」

葵 「ええ、瞬木君は感じたのよ今の天馬じや悪夢には勝てない、本当の天馬ならやれるつて。ユメタ君、瞬木君はあなたを本気で心配していたのよ。」

ユメタ 「僕を本気で・・・」

ビッグ悪夢 「この! ちよこまかと!」

天馬 「さあみんな! 僕についてこい!」

ギャラクシーアイレブン 「おう!」

ラブリー 「天馬君」

天馬 「マナさん! めぐみさん! プリキュアのみんなも俺についてこい!」

ハート 「天馬君・・わかつたわ!」

ラブリー 「どこでもついて行くよ!」

プリキュア 「うん！」

ビッグ悪夢 「おのれ！」

天馬 「いくぞ！ これがみんながくれたミラクルライトの力だ！ はああ！」

ペガサスレッド

神童 「ペガサスが！」

ラブリー 「赤くなつた！」

ヒイーン

ビッグ悪夢 「ぐあ！」

ドサツ

ビッグ悪夢 「くそー！」

天馬 「嵐・竜巻・ハリケーン！！」

ビッグ悪夢 「ぐおおおお！」

天馬 「いつけーー！」

ズガーン

ビッグ悪夢 「ぐああああ！」

信助 「やつた！」

ハート 「すごい」

ラブリー 「これがそよ風の天馬君なんだ。」

ハート 「うん、でも今の天馬君は嵐よ！ 嵐になつたんだよ！」

神童 「相田、愛乃。」

ラブリー 「神童君。」

神童 「どうだ、あいつが俺達のキヤプテン、松風天馬だ！」

ラブリー 「私達、天馬君に見習わなきやならないね。」

ハート 「うん！ 天馬君についていかなきや！」

エンエン 「やつたねグレル！」

グレル 「すげえ！ 本当にすげえよ！ 天馬！」

ユメタ 「・・・そういう事だつたんだ。」

グレル 「えつ？」

ユメタ 「わかつたよグレル、キミが天馬のパートナーになりたいって言つた理由が。」

天馬 「みんな！ これが俺達の力なんだ！ サツカーやろうぜ！」

ギャラクシーイレブン 「おう！」

豪炎寺 「成長したな、天馬。」

円堂 「ああ！」

ビッグ悪夢 「ぐおおおお！」

霧野「まだ立てるのか！」

プリンセス「さつきよりデカイ！でも」

ラブリー「絶対に負けないんだから！」

ビッグ悪夢「アクム！」

プリキュア達「はあああ！」

ラブリー プリンセス「はあ！」

ドサツ

ラブリー プリンセス「きやあ！」

パシッ

ハート「大丈夫！」

ソード「私達がついてるから安心して。」

ダイヤモンド「プリキュア5のちかい。」

エース「愛する事は守り会う事！」

ロゼッタ「ですわ。」

ハート「力を合わせて、まだまだいくよ！」

プリキュア「OK！」

ハート「はあ！」

ブルーム イーグレット 「『プリキュア・ツイストリーム・スプラッシュ!』

ビッグ悪夢 「ぐああ!」

ダイヤモンド 「決まった!」

ビッグ悪夢 「ぐおお!」

ブルーム 「あつ!」

ブラック 「ブラック!」

ホワイト 「イーグレット!」

ぐちや

ブラック 「あつ!」

ピーチ 「しまつた!」

ビッグ悪夢 「プリキュア、捕まえた! 落ちろ!」

ユメタ 「プリキュア!」

ブラック 「プリキュア、捕まえた?」

ホワイト 「それはこっちのセリフよ!」

ビッグ悪夢 「うあ!」

ハート 「ラブリー! プリンセス! 今よ!」

ラブリー 「愛の光を聖なる力に! ラブプリプレス! プリキュア・ピンキーラブシュー

ト！」

プリンセス「プリキュア・ブルーハッピーシュート！」

ビッグ悪夢「があ！」

子供達「「プリキュア！頑張れ！」

カトラ「あなたなら大丈夫です！」

ララヤ「頑張るのじや！」

ラブリー プリンセス「くうううう！」

キラーン

ラブリー プリンセス「えつ？」

キュアハニ「・・」

ラブリー プリンセス「キュアハニー！」

瞬木「あいつ！さつきの金髪女！」

ラブリー「よし！一気に押し返すよ！」

プリンセス「バツチこい！」

円堂「鬼道！」

鬼道「ああ！俺達もいくぞ！」

鬼道 円堂 豪炎寺「「イナズマブレイク!!」」

染岡 「俺達も決めるぜ!」

ヒロト 吹雪 染岡 「「ラストデスゾーン!!」」

天馬 「俺達もいこう!」

鉄角 「やつてやるぜ! キャプテン!」

九坂 「悪夢を倒さなきや!」

さくら 「子供達も助からないもんね!」

井吹 「全員の力見せてやるぜ!」

このは 「うん!」

天馬 「みんなの力が1つになれば勝てるんだ! なんとかなるさ!」

天馬 剣城 神童 「「ジ・アース∞!!」」

ビッグ悪夢 「ぐああああ!」

グレル 「みんな! あともう少しだ!」

子供達 「「プリキュア! 頑張れ!」」

ラブリー 「そういうのはラブじやない!」

天馬 円堂 染岡 「「いけー!!」」

ビッグ悪夢 「ぐあああああ!」

しゅん

プリンセス「やつた！」

錦「悪夢を倒したぜよ！」

魂悪夢「まだだ！まだ終わらんぞ！」

さくら「まだ生きてるの！」

鉄角「なんて奴だ！」

エコー「でも今なら倒せるはずよ！」

ユメタ「よし、天馬！プリキュア！」

天馬「うん！」

ラブリー「天馬君、行こう！」

ハート「私も協力するよ！」

天馬「マナさん、めぐみさん、はい！神童さん、お願ひします！」

神童「ああ！」

皆帆「真名部君、見えたかい？」

真名部「見えました！悪夢は倒され、子供達を救う未来が！」

神童「天馬！相田！愛乃！これで決めろ！」

ハート ラブリー「たああ！」

天馬 「はあああ！」

天馬 ハート ラブリー 「「エボリューション!!」「」

魂悪夢 「ぐあああ！」

パリーン

病院

奈美 「ん？ ふわ～」

奈美の母 「はっ！」

奈美 「おはようママ！・すごい夢見ちゃった。あれ？ どんな夢だつけ？」

奈美の母 「奈美！」

夢の世界

ママム 「親にとつて、我が子を失うほどの悪夢はない、悪夢を食べるバクが悪夢を見  
せていたなんて・・・バク失格だわ・・・」

瞬木 「これでわかつただろ、他の母親の気持ちが。」

ママム 「ええ、今痛いほどわかつたわ。」

ユメタ 「お母さん！」

ママム 「？」

ユメタ 「僕、将来の夢があるんだ！」

マアム「えつ？」

ユメタ「自信がなくて言えなかつたんだけど、ずっと思つてたんだ！どんな怖い悪夢にも立ち向かっていくお母さんはすごいって！」

マアム「・・・」

ユメタ「だから僕は将来、お母さんみたいなバクになる！もう一度自分の夢を叶えるために頑張るんだ！」

マアム「ユメタ！」

ユメタ「お母さん。」

ブラツク「みんな、じやあね！」

エース「またお会いしましよう。」

アイちゃん「ばいばい！」

ハート「天馬君、私、あなたにまた会えてすごく嬉しかつたよ！」

天馬「俺もです！マナさん。」

ハート「じゃあね！」

ユメタ「夢から目覚めれば、みんな僕の事忘れる。でも、それでいいんだ！楽しい夢を見て、今日1日頑張ろうって思つてくれたらそれで！」

グレル「俺は忘れないぞ、お前の事。絶対に忘れない！」

エコー「離ればなれになつても友情は消えないわ。心が繋がつている限り、ずっと友達よ。」

エンエン「僕、教科書に書くよ。新しいプリキュア、ハピネスチャージプリキュアの事、僕達のパートナー、キュアエコーの事、そして、夢の中でみんなの夢を守っているユメタっていう妖精がいるつて事!みんなに伝えるからね。」

ユメタ「グレル、エンエン」

エンエン「また会おうね。」

ユメタ「うん!」

グレル「俺は永遠に友達だ!」

プリンセス「うう~」

リボン「プリンセス、もらい泣きし過ぎですわ。」

プリンセス「だつて、だつて、永遠の友達だつて」

ラブリー「お母さんの愛情があつて、永遠の友情がある。世界にラブがいっぱいだね!これにて幸せハピネス!」

リボン「あつ、天馬さん達の世界につながるルートつなげました。これでもとの世界に帰れます。」

天馬「ありがとうございます。」

ブルー「天馬君、みんな、僕はキミ達に謝罪しなければならない。本当にすまない。僕の力のミスでキミ達を巻き込んでしまって。」

天馬「いいえ、俺は感謝します。」

ブルー「えつ？」

天馬「あなたのおかげでまたマナさん達に会えました。グレルにエンエンにも。それに新たなプリキュアのめぐみさんにひめさん、そしてリボン。グレル達のパートナーのあゆみさん、それから」

神童「ユメタにも会えて、だろ？」

天馬「はい。もちろん、あなたにも。」

ブルー「・・そうか、ありがとう。」

ラブリー「天馬君、私達もお礼を言うよ。ありがとう！」

天馬「はい、めぐみさん達もすごいプリキュアでした。」

グレル「天馬、ごめんな、天馬のパートナーになりたいって言つたけど」

エンエン「僕も信助のパートナーになりたいって言つたけどね」

信助「大丈夫だよ。キミ達はプリキュアの妖精になるのが目標だつたんだもん。」

エンエン「ありがとう。」

グレル「それだつたらこの教科書に乗せておくよ、天馬達と共に戦つたアース、いや、

ギャラクシーイレブン!」

エンエン「天馬達を支えてくれたイナズマレジンドジャパンの仲間!」

グレル「そして、ミラクルライトの力で赤いペガサスを羽ばたかせた天馬の事!」

天馬「うん!」

ラブリー「あつ、そういうえば聞きそびれたね。天馬君、あなたの夢は何? やっぱりサッカーチーム選手?」

天馬「俺の夢···俺の夢はここにいる神童さんや信助、剣城達といつまでもサッカーをしてみたい!」

霧野「天馬!」

剣城「俺達といつまでもつか」

ラブリー「天馬君、その夢いつまでも叶うよ! あなたの絆なら! よかつたら約束しちゃう。また会えたらサッカーチーム!」

天馬「はい! 楽しみです!」

ラブリー「また会えたら、サッカーチーム!」

天馬「やろうぜ!」

プリキュアとギャラクシーイレブンはもとの世界に戻りまた会えると信じ合うのでした。何しろ友達だから!

プリキュア 「「みんな！ずっとずっと友達だよ！」」  
おしまい